



株主通信

第44期

第2四半期 2022年4月1日～2022年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第44期第2四半期の「株主通信」をお届けし、当期の状況についてご説明申し上げます。

2022年12月

取締役社長

羽田 雅一



第2四半期の概要

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、資源高の影響などを受けつつも、企業収益が全体として高水準で推移し、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、景気は持ち直しています。

情報サービス産業におきましては、顧客のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は底堅く、製造業の情報化投資は引き続き堅調に推移するものと見込まれておりますが、景気の下振れリスクの影響を受け、顧客の情報化投資意欲の後退懸念は払拭し切れない状況にあります。

当社グループは、2021年度から6カ年の経営計画「経営Vision 2026」のもと、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に、当社グループの強みを活かした製品・サービスで支援すべく、製造業のDX推進やグローバル展開等の経営課題解決に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、下記のとおり前第2四半期比増益となり、5期連続で過去最高益を更新いたしました。良好な第2四半期の業績を踏まえ、11月11日に通期業績予想の利益を上方修正しております。

第44期(2023年3月期)の配当金につきましては、中間配当金を1株あたり21円とさせていただきます*。期末配当金は39円を予定しており、年間配当金は60円となる予定です。当期年間配当金は、前期実績84円(1対2の株式分割考慮後42円)に対し実質的に増配となり、8期連続増配、過去最高となる見込みです。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

*中間配当の支払開始日は12月2日です。

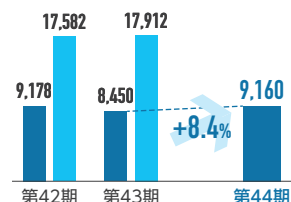
連結業績ハイライト

■第2四半期累計期間 ■通期 (単位：百万円)

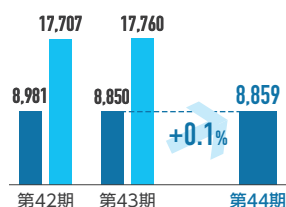
決算のポイント

- 堅調な情報化投資のもとで、受注高は前第2四半期に比し増加、売上高は前第2四半期と同水準
- 利益は、次により前第2四半期に比し大幅に改善
 - ▶ ソリューション事業における不採算案件抑制およびプロジェクト採算性向上
 - ▶ プロダクト事業のライセンス販売増加とシステムサポート事業の採算性向上

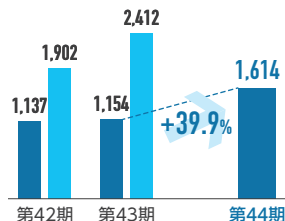
受注高



売上高



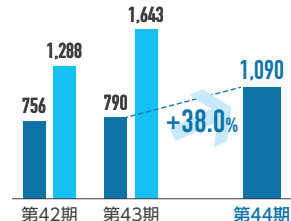
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



※ 第43期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、第42期は当該会計基準等の遡及適用後の数値となっております。

2023年1月、当社のブランドコンセプト およびコーポレートロゴを刷新します

当社は「ものづくり」をITで支える会社として、主に製造業の企業様に対して、デジタル化によるビジネス変革をご支援してまいりました。設立から20年以上が経ち、当社の将来像をあらためて明確にすべく、新たな「ブランドコンセプト」を定めるとともに「コーポレートロゴ」を刷新することといたしました。

■ ブランドコンセプト

B-EN-Gの新しいブランドコンセプトは、ステークホルダーの皆様への約束である「ブランドステートメント」と、私たちが社会に存在する意義と考える「パーパス」の2つから成っています。

[ブランドステートメント]

未来まで、よりそい抜く

世の中には、人々の幸せを願いながら
価値の創造に挑むつくり手がどれほどたくさんいることか。
ものづくりをITで支え続けてきた私たちB-EN-Gは、
誰よりもそれをよく理解しています。

私たちは、お客様自身にはなれません。
けれど、必死に前に進もうとするつくり手と
同じ目線で課題を分かち合い、同じ熱量で目標を目指す
ことならできる。そう信じています。

だから時に、耳に痛い意見をお伝えするかもしれません。
時に、ご依頼と異なる提案を差し上げることもあるでしょう。
お客様が求めるままではなく、お客様に本当に必要な答えを
提供することこそ、真のパートナーの使命だと思っております。

“Business Engineering for Growth”

すべては「お客様にとっての成長」のために、
前でもなく後ろでもなく、そばによりそいながら
ゴールまでの道をとる。私たちはB-EN-Gです。

[パーパス]

世の中に創造業を増やす

つくり手が創造的活動に専念できる仕組みを形にすること。
つくり手と手を携え、より大きな価値の創出に挑むこと。
世の中に「価値の創造業」を増やし、
ともに人々の幸せがあふれる社会を実現していく。
それが、ビジネスエンジニアリングです。

■ コーポレートロゴ



新たに会社のシンボルマークをデザインするとともに、
コーポレートカラーも新しくなりました。「B」マークの
中で融合する2つの円は、つくり手であるお客様と当社
とが「つながる力」であり、手を携えて新たな価値や成長を
「生み出す力」でもあります。すなわち、私たちのブ
ランドステートメントおよびパーパスに込めた想いを表
現しています。また、新しいコーポレートカラーは、「新
しいはじまり」を象徴するブルーグリーンを採用しまし
た。「知的・誠実・精緻・冷静・理性」などを表すブルーと、
「生命力・成長・自然・健やか・安定」を意味するグリーン
の混色で、2つの色それぞれのイメージを内包しています。

セグメント別事業概況

ソリューション事業

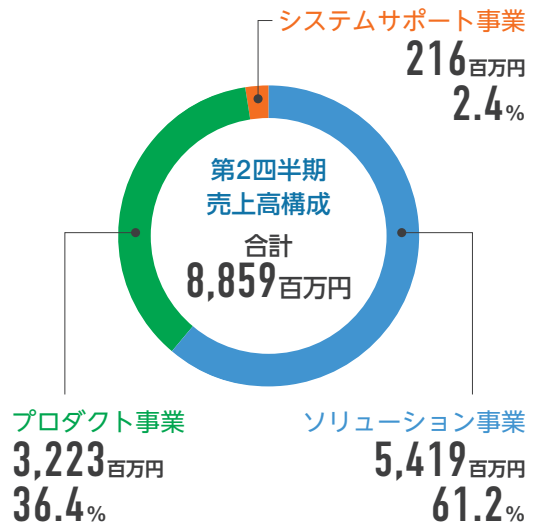
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を主に行う事業です。顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。売上高は前年同四半期の大型案件の反動減により減少いたしました。堅調な情報化投資を背景に受注高は増加いたしました。セグメント利益は不採算案件抑制とプロジェクト採算性向上により大幅に改善いたしました。当セグメントの受注高は5,650百万円（前年同期比7.4%増）、売上高は5,419百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は1,103百万円（前年同期比106.7%増）となりました。

プロダクト事業

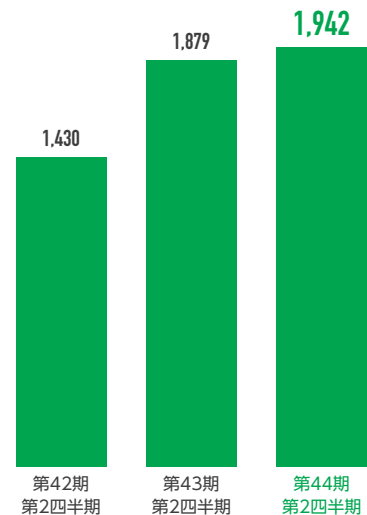
自社開発ERPパッケージ「mcframe」シリーズ製品をビジネスパートナーを通じて販売するとともに、同製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を行う事業です。引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図りライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。好調なライセンス販売を受け、当セグメントの受注高は3,316百万円（前年同期比9.9%増）、売上高は3,223百万円（前年同期比6.8%増）となりました。販促活動の強化による販売費の増加により、セグメント利益は前年同期比減の1,062百万円（前年同期比4.7%減）となりました。mcframeライセンス売上高は1,942百万円（前年同期比3.4%増）となり、過去最高を連続更新いたしました。

システムサポート事業

顧客に導入したシステムの運用・保守を主に、これらを通じた提案・追加開発等を行う事業であり、子会社のビジネスシステムサービス株式会社が展開しています。引き続き、顧客システムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は193百万円（前年同期比14.4%増）、売上高は216百万円（前年同期比21.2%増）、セグメント利益は214百万円（前年同期比14.6%増）となりました。



mcframeライセンス売上高 (単位：百万円)



財務のポイント

総資産は、現金及び預金の増加、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により、前期末と比較して744百万円増加し、12,235百万円となりました。

負債は、前受金の増加、賞与引当金の減少、短期借入金の減少等により、前期末と比較して39百万円減少し、3,976百万円となりました。

純資産は8,259百万円となり、自己資本比率は67.5%となりました。

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
流動資産	8,866	9,638
固定資産	2,624	2,597
資産合計	11,491	12,235
流動負債	4,016	3,976
負債合計	4,016	3,976
純資産	7,475	8,259
負債純資産合計	11,491	12,235

会社概要

社名	ビジネスエンジニアリング株式会社
事業開始	1999年4月(設立 1980年12月)
資本金	697,600,000円
従業員数	連結687名 単体521名
業務内容	企業経営および情報通信システムのコンサルティング コンピュータネットワークの企画および開発 情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社	東京都千代田区大手町1丁目8番1号 KDDI大手町ビル
関西支店	大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号 新大阪プライムタワー4階
中部営業所	愛知県名古屋市中区錦3丁目4番6号 桜通大津第一生命ビル12階
グループ会社	ビジネスシステムサービス株式会社 Business Engineering America, Inc. 畢恩吉商務信息系统工程(上海)有限公司 Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd. PT. Toyo Business Engineering Indonesia Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

役員

取締役 会長	片山 博
代表取締役 取締役社長	羽田 雅一
代表取締役 専務取締役	別納 成明
常務取締役	中野 敦士
取締役	佐藤 雄祐
社外取締役	清水 弘
社外取締役	樋口 英雄
社外取締役 監査等委員	丸山 龍二
社外取締役 監査等委員	志水 直樹
取締役 常勤監査等委員	大塚 博文

株主メモ

事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
毎年6月

基準日
定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告いたします。

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所
[郵便物送付先・電話照会先]
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株
式会社の本店および全国各支店で
行っております。

単元株式数
100株
公告の方法
電子公告 <https://www.b-en-g.co.jp/>

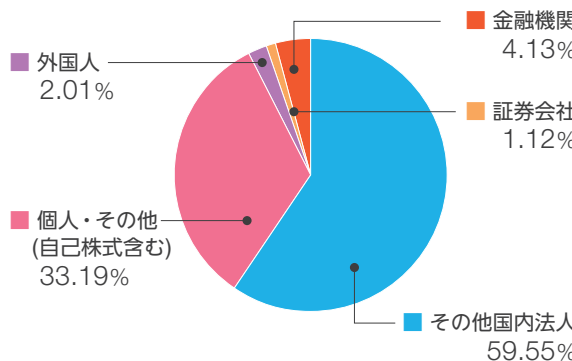
株式の状況

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	12,000,000株
株主数	9,457名

大株主

	所有株式数(株)	所有比率(%)
株式会社図研	2,475,000	20.62
三谷産業株式会社	1,488,000	12.40
ウイングアーク1st株式会社	960,000	8.00
株式会社インテック	720,000	6.00
キャノンITソリューションズ株式会社	720,000	6.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	398,700	3.32
株式会社テクノスジャパン	360,000	3.00
B-EN-G社員持株会	271,600	2.26
株式会社アバント	108,000	0.90
株式会社テラスカイ	108,000	0.90
キッセイコムテック株式会社	108,000	0.90

所有者別株式分布状況



株主総会資料の 電子提供制度のご案内

会社法改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されます。本制度の概要や当社の対応予定につきまして、ホームページのIR情報に掲載しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.b-en-g.co.jp/ir/soukai.html>

